

19年連続でレンズ交換式デジタルカメラの世界シェア No.1 を達成

キヤノンは、レンズ交換式デジタルカメラ（デジタル一眼レフカメラおよびミラーレスカメラ）の世界市場において、2003年から2021年まで19年連続で台数シェア No.1^{※1} を達成しました。



プロ・ハイアマチュアユーザー向け
フルサイズミラーレスカメラ
「EOS R3」

キヤノンのレンズ交換式デジタルカメラ EOS シリーズは、「快速・快適・高画質」を基本コンセプトとして、キーデバイスである CMOS センサー、映像エンジン、および交換レンズを独自に開発してきたイメージングシステムです。プロから高い信頼を得ている高性能なフラッグシップモデルから、簡単な操作で高画質な撮影を楽しむことができるエントリーモデルまで幅広い製品ラインアップをそろえています。多彩な表現を可能にする豊富な RF/EF レンズシリーズとともに、お客さまの多様なニーズに応え続けています。

2003年9月、黎明期（れいめいき）におけるデジタル一眼レフカメラとして、画期的な低価格と小型・軽量を実現したエントリーモデル「EOS Kiss Digital」を発売することで、市場拡大のきっかけを作り、世界シェア No.1 を獲得しました。その後もプロ向け EOS-1D シリーズや、一眼レフカメラによる動画撮影を普及させた EOS 5D シリーズなどの時代を切り開く製品を提案してきました。さらに2018年10月には、理想のレンズ設計から生まれた「RF レンズ」の魅力を最大限発揮するためのイメージングシステム「EOS R SYSTEM」を立ち上げ、2020年7月には、世界初^{※2}の8K動画撮影機能を搭載した「EOS R5」を発売するなど、撮影領域のさらなる拡大と新しい映像表現の可能性を追求しています。

2021年は、プロやハイアマチュアユーザーから求められる高い性能と信頼性を兼ね備えたフルサイズミラーレスカメラ「EOS R3」（2021年11月発売）および8種類のRFレンズ^{※3}を発売し、VR映像撮影システム「EOS VR SYSTEM」を立ち上げるなど、システムのさらなる拡充を図ることで、キヤノンは2003年から19年連続でレンズ交換式デジタルカメラの世界シェア No.1 を達成しました。

キヤノンは、これからも光学技術を中心に映像技術に磨きをかけ、EOS シリーズを RF/EF レンズシリーズとともにさらに強化・拡充することで、新たな映像領域を切り開き、写真・映像文化のさらなる発展に貢献していきます。

※1 キヤノン調べ。

※2 2020年7月8日時点で発売済みのレンズ交換式デジタルカメラにおいて。

※3 2021年に発売したRFレンズは、「RF70-200mm F4 L IS USM」（2021年3月発売）、「RF100mm F2.8 L MACRO IS USM」（2021年7月発売）、「RF400mm F2.8 L IS USM」（2021年7月発売）、「RF600mm F4 L IS USM」（2021年7月発売）、「RF14-35mm F4 L IS USM」（2021年9月発売）、「RF100-400mm F5.6-8 IS USM」（2021年10月発売）、「RF16mm F2.8 STM」（2021年10月発売）、「RF5.2mm F2.8 L DUAL FISHEYE」（2021年12月発売）の8種類。